

山行名	柴又七福神巡り		東京都葛飾区	
実施日	2019年1月13日(日) 日帰り		公共交通機関利用	
天候/参加人員	天候：曇りのち晴れ レベル：★ 参加者：19名(男7名/女12名) 申込み21名			
パーティスタッフ	省略			
参加メンバー	省略			
費用2,870円 シニア2,770円 (渡し舟に乗らない人は-400円)	本厚木駅を基点とした場合 往路：本厚木-新宿-日暮里-京成高砂 960円、帰路：柴又-京成高砂-日暮里-新宿-本厚木 960円、寅さん記念館+山本亭セット券(一般550円、65歳以上シニア450円)、矢切の渡し舟：往復400円			
		歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイドブック	—	—	—
	計画	—	—	※6:35
	実行	—	—	※5:45
				※ 歩行、参拝、見学、小休止、昼食時間を含みます。
				歩行数：約16,000歩
実行コースタイム記録				
小田急線 山手線 京成本線特急成田空港行				
本厚木====新宿=====日暮里=====京成高砂駅.....①観蔵寺(寿老人).....②医王寺(恵比寿天).....				
7:27	8:25	8:32	8:52 9:00	9:14 9:30 9:37 10:00 10:20-30
③宝生院(大黒天).....参道(昼食/やぶ忠)....④題経寺・帝釈天(毘沙門天)....⑤万福寺(福祿寿).....				
10:45	11:00	11:10-55	12:00-15	12:25-32
...寅さん記念館.....山本亭.....矢切の渡し〜対岸〜矢切の渡し.....公園で休憩.....⑥真勝院(弁財天).....				
12:40	13:05	13:10-25	13:43	14:20 14:22-30 14:40-45
.....⑦良観寺(宝袋尊)....柴又駅(一旦解散)====京成高砂=====日暮里=====新宿=====本厚木				
14:55	15:05	15:15 15:24	15:27 15:33	15:49 15:59 16:20 16:37 17:30頃
コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>この七福神巡りも毎年好評で第5弾となり、参加申込み者も21名の大人数となった。天気予報によると実施日の13日は天候芳しくなく、14日に延期しようと検討したが、そうこうしている内に天候も回復して、計画通り13日決行とした。連休なので電車は込み合うのではと心配したが、車内は思いのほか空いており全員座ることができ楽々の出発となった。</p> <p>★2か月前に下見をしたにも関わらず、迷ってしまった所もあった。このコースは狭いエリアにまとまっているが、道が複雑で途中で七福神の『のぼり』も無く、記憶が曖昧。下見の時は要所要所でしっかりメモすることが大事と反省した。</p> <p>★大人数での昼食処に悩んだ。正月の参道の食事処は予約不可との事なので、果たして19人纏まって席を確保できるかということ。早めに食事処「やぶ忠」に行ったので、運よく2階に全員纏まって席に着くことができホッとした。「さくら定食」や「どんぶり物」お酒など注文した人もいて、概ね好評だった。</p> <p>★柴又帝釈天参道は思ったより狭く、人出でごった返し、運よく獅子舞にも遭遇し幸運をいただいた。</p> <p>★寅さんが産湯を浸ったという帝釈天が一番賑やかで、笠智衆扮する和尚さんに出会えるような気がした。</p> <p>★寅さん記念館、みんな一度は映画を観たことがあるので、懐かしく熱心に見入っていた人が多かった。</p> <p>★大正期の名建築として名高い山本亭では、正月に相応しく琴の生演奏を聴きながら、亭内や名庭園を見学。</p> <p>★「矢切の渡し」舟に乗る頃は、日差しも暖かく希望者12名が他の客と艚漕ぎの小舟に乗る。水深6メートルの江戸川は昔の旅人に思いを馳せる間もなく対岸に着く。堤防を登ると松戸の田園風景が広がり、「野菊の墓」の民子と政夫の淡い恋物語に思い馳せる人もいた。振り返ると雲一つない空にスカイツリーが見えた。</p> <p>★宝生院では快く本堂にあげていただき、本尊の大黒天像を至近距離から拝観させてもらった。</p> <p>★良観寺(宝袋尊)を参拝し全行程を終え、予定より早く柴又駅に到着。「フーテンの寅像」は「よおー」と寅さんの声が聞こえてきそうな銅像だった。ここで一旦解散とし、みんな揃って帰途についた。</p> <p>★CLも歳を重ね道迷いもありましたが、皆様のご協力で無事終了できました。ありがとうございました。</p>				